

# 放射性物質測定で新技術

ストロンチウム90 福大の高貝教授ら開発



高貝 慶 隆 教授



青木 譲 さん

福島大共生システム理工学類の高貝慶隆教授らは12日、学内で記者会見し、少

量の試料から微量な放射性ストロンチウム90を測定する技術を開発したと発表した。ストロンチウム90の小动物や魚などへの蓄積量が正確に測定できるようにするという。

ストロンチウム90はカルシウムに似た性質で、歯や骨などに取り込まれやす

あり、ベータ線も弱いため蓄積量を分析するのは難しいとされてきた。高貝教授は海洋研究開発機構と合同で、表面電離型質量分析計という装置を用い、フィル

ターなどを通すことで、少々の試料からの測定を可能とした。震災時の子どもたちの歯を保管している東北大学歯学部や野生動物の試料を持つ県野生生物共生センター（大玉村）などの関係機関と連携し、分析に生かす。

高貝教授は「ストロンチウム90のより正確な情報を集め、実態に迫ることができる」と意義を語った。研究に携わった同大大学院共生システム理工学研究科博士後期課程2年の青木譲さ

んが会見に同席した。論文はアメリカ化学会発行のオンライン誌に掲載され、優秀賞に選出された。

福島民報  
2023年4月13日